

国際部報告2

WFAS執行理事会(2008.11.6,北京)報告

津谷喜一郎^{1,2)}, 若山 育郎³⁾

- 1) WFAS執行理事
- 2) 全日本鍼灸学会顧問
- 3) 全日本鍼灸学会国際部長

要 旨

2008年11月6日に中国北京で開催されたWFAS執行理事会では、2007年以降の活動報告のほか、WFAS会員証の改訂、WFAS憲章改訂、第7回WFAS世界鍼灸学術大会開催地などについての審議がなされた。会員証と憲章の改訂については、WFAS加盟団体が設立時に比べ倍増してきていることに対応するために事務局から提案があった。第7回WFAS世界鍼灸学術大会開催地については、韓国で開催することが既に決定していたが、昨年後半からの世界的な経済危機により開催が困難であるとの申し入れがあり、執行理事会はそれを受け入れた。代替候補地としてフランス・ドイツ共催案が浮かんだがそれぞれの代表が持ち帰り検討することとなった。また、WFASホームページ上のWFAS倫理綱領に関する提言が津谷によりなされ承認された。

キーワード：WFAS会員証、WFAS憲章、WFAS世界鍼灸学術大会次期開催地

はじめに

WFAS執行理事会が昨2008年11月6日(木)15:00-17:00に中国北京郊外の九華山荘の会議室で開催された。正式な名称は"Fifth Session of the Sixth Executive Committee"である。この日程は、その翌日11月7日から8日にかけて同じ建物で開催されたWHO Congress on Traditional Medicine (WHO 伝統医学会議)とWFASサテライトシンポジウムの前日に設定されたものである。これらの報告は本誌p.47-51参照のこと。

全日本鍼灸学会(Japan Society of Acupuncture and Moxibustion:JSAM)からは、WFAS執行理事として津谷が、WFAS副会長・黒須幸男の代理と



して JSAM 国際部長・若山が出席した。また、JSAM 国際部副部長・高澤直美、JSAM 国際部委員・東郷俊宏、JSAM 研究部長・川喜田健司、明治国際医療大学・斉藤宗則がオブザーバとして参加した。これらのオブザーバの参加は、これまでも発言権や投票の際に問題になったことがあり、公的に認知されたものではない。今回は、名札が配置され四角く配置された執行理事用の機の背後に、別の机が配置され区別できるようになされていた(図)。

会議に先立って 2008 年 9 月 2 日に逝去された WFAS 終身名誉会長・王雪苔 (WANG Xuetai, 享年 83 歳) と同年 11 月 4 日に逝去された WFAS 執行理事 KP. Soenarjo Dikoesoemo (Indonesia, 享年 60 歳) に黙祷を捧げた。

・議事内容

会議は、WFAS 会長・鄧良月 (DENG Liangyue) の挨拶のあと、WFAS 事務局長・沈志洋 (SHEN Zhixiang) の司会のもと行われた。報告と議事の概要は以下の如くであった。

1. WHO 伝統医学会議と WFAS サテライトシンポジウムの準備状況報告

6 回の準備委員会と広報活動の結果、現在まで 27 の国々より 300 名を超える参加の申し込みがあった。

2. 2008 WFAS 活動報告

(1) WFAS 加盟団体について

昨年の執行理事会以降 WFAS への加盟申請は 12 団体よりあり、うち 9 団体が承認された。それにより現在の加盟団体数は 124 となった。

この承認プロセスに対し、事前の執行委員への情報提供が不十分で、承認すべきか否かの判断に困難を伴うというクレームが、複数の執行理事から述べられ、今後の改善が要望された。

(2) 加盟学教会との交流について

WFAS よりの派遣 (ブラジル、日本、韓国、アルゼンチンなど)、加盟国からの交流の受け入れ (カナダ、英国、オランダ、フランス、ノルウェー、ベトナム、日本、ブラジル、スロベニア、トルコなど) について報告があった。

(3) WFAS University Cooperation Working Committee について

一昨年 2007 年準備委員会が開催され、20 大学より参加申請があった。WFAS は本委員会を通して、教育・臨床研究・標準化・中国各大学における国際認定試験を行う態勢を整えたいとのことである。

(4) WFAS Communication および WFAS website について

各加盟学協会における活動を掲載するよう要望があった。津谷により、website に収載されている中国語の WFAS 倫理コード「世界針灸学会収合会道德准则」に間違いがあり、本来の全 10 項目が収載されておらず、第 10 項のヘルシンキ宣言を含む研究倫理が抜けていることが指摘された [http://www.wfas.org.cn/join/zhinan/200709/1083.html]。英文の website にはこの倫理コード自体が収載されていない。1987 年の WFAS 設立時の議論で全 10 項目とすることの正式な承認がなされたこと、鍼のエビデンスが世界的に求められる時代に臨床研究の重要性は高まっていること、世界的な組織である WFAS の倫理コードは中国独自のものではないことが述べられた。この指摘は拍手を持って承認され WFAS 事務局は website の修正を行うことになった。なお今回の執行理事会の参加者に配布された王雪苔の追悼記念の書籍『王雪苔與世界針灸学会収合会』(2008) page 9 に、この第 10 項目の消去が彼の一存でなされたと解釈される本人の文章が存在していた。

3. WFAS 会員証の改訂について

この 20 年で、当初の加盟団体 57 から現在では 50 カ国、124 団体が加盟している組織に発展したことに伴い、WFAS 事務局より WFAS 会員証 (Member Certificate) を改訂する提案があった。津谷から新会員証に用いられている予定の WHO のロゴ使用に関しては WHO 本部の法務担当部門から正式な許可を取るべきであるという意見が出され了解された。

4. 第 7 回 WFAS 世界鍼灸学術大会開催について

本年 2009 年の第 7 回 WFAS 世界鍼灸学術大会

(Seventh WFAS World Congress of Acupuncture) は、一昨年2007年のインドネシア・パリでのシンポジウムの際の執行情事会で大韓鍼灸師協会(Korean Acupuncture Society)がホストして韓国で開催と決定していた。だが、2008年後半より始まった世界的な経済危機が韓国において深刻であることを理由に開催辞退の申し出があった。

執行情事会は、それを受け入れたうえで、新たな候補を募った。それに対してすぐに手を挙げる団体はなかったが、WFAS事務局の提案によりヨーロッパ開催案が浮上した。なかでもフランス・ドイツ共催案が現実的であるとの意見があり、それぞれの代表は持ち帰ったうえで再度返答することとなった。

開催を辞退した韓国の別の団体(Korean Association of Traditional Chinese Medicine)の代表がオブザーバ席から開催の意向を発言したが、WFAS未加盟であり、また韓国の厚生省から認知された団体ではないという理由で反対意見があり採用されなかった。この団体は中国で鍼灸の教育を受けた韓国人からなるものである。

5. WFAS 憲章改訂について

WFAS加盟団体が124団体と増加したことにより、各地域の執行情事数に偏りが出てきている。また、WFASにおける新しい参加団体の意見も反映する必要がある。そうした理由でWFAS 憲章(Constitution)中の副会長と執行理事の数を見直したいとの提案が事務局よりあった。執行情事数については30~40あるいは40~50という案が挙がった。

これに対してWFAS加盟団体の数をあまり拡大しすぎるのはいかなるものかという意見が出された。一部の地域で、WFASは加盟申請に際して質的なコントロールがなく、どんな団体でもメンバーになれるという噂があり、WFASの評価を下げているというのがその理由であった。

6. WFAS International Standards of Acupuncture Needleについて

WFAS International Standards of Acupuncture Needle 制定の必要性とworking group設立につい

て、中国からの執行情事・劉保延(LIU Baoyan)より提案と説明があった。一昨年2007年のWFAS設立20周年の北京シンポジウムで、鍼の品質は治療効果に影響する、また現行の鍼の品質には疑問があるなどの報告がドイツからあり、その発表に対して非常に大きな反響があった。さらに、その後、複数の国からWFASが国際標準を作るべきであるとの声が多数寄せられたということである。

この提案に対して、ヨーロッパの複数の執行情事から、鍼の品質の標準化はやはり必要との声があった。また、鍼灸針そのものの標準化とどの程度の物理的刺激で切皮できるかといった基礎的なデータの必要性についても意見があった。若山から、日本を含めて東アジアの各国政府機関は既に独自のスタンダードを持っているが、その様々なスタンダードに対してWFASがどう対応するかを質問したところ、ベストな品質のスタンダードを採用し、それを推薦するのが良いという意見があった。

なお、working group設置の件に関しては、WFAS事務局の譚源生(TAN Yuansheng)から今回のWHO伝統会議期間中に会議を開催するとの打診がJSAM参与・形井秀一のもとに寄せられた。11月8日夜に、日本、中国、韓国、フランスの代表による非公式な話し合いがもたれた。ここでは、次年度の第7回WFAS世界鍼灸学術大会の際に鍼の品質ではなく、耳鍼の部位の標準化を検討するという提案がなされた。

．おわりに

WFAS執行情事会の進行は、従来と比べるとスムーズになっている。昨年2008年8月に中国は北京オリンピックを開催したが、国際的活動についても中国の各領域で経験が集積してきたようである。だがWFASの種々の意思決定について、中国からの役員のみで決定することが多く、事前にその連絡や承認の要請がない。意思決定にあたってのコミュニケーションは、なお大きな改善の余地がある。

本年2009年の第7回WFAS世界鍼灸学術大会の開催は流動的である。開催が流れる可能性もある。

WFAS EC Meeting Report

Report on 2008 WFAS Executive Committee Meeting

TSUTANI Kiichiro^{1,2)}, WAKAYAMA Ikuro³⁾

- 1) Executive Committee Member, WFAS
- 2) Advisor, JSAM
- 3) Director, Department of International Affairs, JSAM

Abstract

WFAS Executive Committee meeting was held on 6 November 2008 in Beijing, China. Firstly, WFAS secretary reported what they have achieved since last meeting in 2007. Then some important issues such as revision of membership certificate and revision of WFAS constitution were proposed and discussed. The 7th WFAS World Congress of Acupuncture had been decided to be held in Korea in 2009, but it was cancelled because of the recent economic crisis. The alternative venue for the next congress was not decided but France and/or Germany could be the candidate. In addition, Dr. Tsutani made a suggestion about the WFAS ethic codes on the WFAS website and it was approved.

Zen Nihon Shinkyu Gakkai Zasshi (Journal of the Japan Society of Acupuncture and Moxibustion: JJSAM). 2009; 59(1)::52-55

Key words: WFAS certificate, WFAS constitution, candidate of the next WFAS World Congress of Acupuncture